



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成30年1月29日 No.9

夢をかなえる

生徒たちは、1学期から2学期と大きく成長してくれていると感じます。落ち着いて学習に取り組むことで学力の向上が図られてきていること、大きな声であいさつができるようになったことなど、素晴らしい成果が出てきていると感じています。私は、五中生の良いところは、素直なこと、一生懸命努力することだと思っています。期待を込めて話したことは、素直に聞いて、一生懸命に努力してくれること。これは何物にも代えがたい、人として一番大切なことの一つだと思っています。

さて、年が改まり、平成30年となって、1か月がたちました。生徒たちは、今年こそはと力を込めて自らの目標を立てています。その目標は、自分がやりたいという希望だけでなく、やらなければならない義務や責任を伴うことも含まれていることと思います。自分なりに優先順位をつけてひとつずつでよいので、確実に実行していくことが大きな飛躍につながると期待しています。私は、始業式で生徒たちに次のような話をしました。「今日の話は、夢をかなえる秘訣についてです。アメリカのウォルトディズニーという人を知らない人はいないと思います。ミッキーマウスをはじめとする様々なキャラクターを世に送り出したエンターティナーであり、実業家です。事業に大成功した彼の言葉に「夢をかなえる秘訣」というものがありました。彼はアメリカ人なので、英語です。4つの「C」で始まる言葉だそうです。「curiosity—好奇心」「confidence—自信」「courage—勇気」「constancy—継続」という言葉です。少し補足すると、好奇心—様々なことに興味を持ち、何をしようか、何をなすべきか探す、自信—自分には、取り組もうとしたことをやり遂げることができると思える、勇気—やろうと思ったことに思い切って挑戦する、継続—途中で諦めずに最後までやり通すということだと思っています。今年一年、この4つの言葉も参考にして、自分の夢の実現にチャレンジしてほしいと思っています。」

草刈りボランティア

1月13日（土）の午後、生徒会本部が中心となって計画してくれた、草刈りボランティアが実施されました。一回目となった今回の取組では、東門と西門、そしてテニスコートや高鉄棒や野球のバックネット付近の草刈りを行ってくれました。

生徒会本部役員をはじめ、硬式・軟式のテニス部、サッカー部、野球部、陸上部という校庭の運動部の皆さんと先生方、そして保護者や地域の人々、部活動のコーチも手伝ってくださり、総勢120名近くになりました。

約2時間、精魂込めて精いっぱい取り組んでくれた成果は、とても素晴らしく、見違えるようにきれいになりました。これまで、不便を感じたり、きれいにした方が気持ちよくなるのと思っていたても、なかなか実行に移せないでいたものを、生徒が計画し、実行してくれたことに大きな喜びを感じます。

学校評価で、「ボランティア活動など、人のために行う活動に積極的である」という項目があります。今年度の前期の皆さんの評価は、「当てはまる」「やや当てはまる」を合わせても、53.1%という低い割合でした。しかし、私は、五中生は「ボランティアの気持ちが薄い」などと思っていません。ただ、ボランティアに取り組むきっかけがないのだと思っています。今回の草刈りボランティアで参加してくれた生徒たちは、本当に一生懸命、途中で投げ出すどころか、「もう時間だから片付けましょう」と声をかけてもやめないぐらいでした。このほかにも、12月には地域清掃のボランティアがありました。また、夏のボランティア体験学習感想文では府中市中学生の全表彰者36名のうち10名を五中生が占めるという、素晴らしい状況でした。これは、単に感想文が素晴らしいから表彰されたのではなく、ボラン

ティア活動に対する考え方や姿勢、思いやりや感謝の心が表彰されたものだと思っています。五中生には、ボランティアの心が確実にそして大きく育ってきていると思っています。生徒たちが少しずつでよいので、機会を見つけて、ボランティア活動に積極的に参加してくれることを期待しています。

今回始まった草刈りボランティアは、今後も継続していきたいと思っています。本校の校庭は広く、今回では手を付けられなかったところもたくさん残っています。また、植物は予想以上にたくましいので、今回刈り取ったと思ってもまた、伸びてくることでしょう。ぜひ、みなさんのご協力をお願いいたします。



パラリンピアンをお招きして

1月13日(土)に三宅克己さんをお招きし、「自分の可能性を信じて」というテーマでご講演、各学級やバスケットボール部の代表生徒合計38名による車いすバスケットの体験を実施しました。講師の三宅さんは、過去3回のパラリンピックに出場、日本代表のキャプテンも務められたアスリートです。

交通事故で下半身の機能が失われたのですが、車いすバスケットボールという競技と出会い、様々なことに挑戦する意欲をもち、日々努力を重ねられた方です。講演の中で、「希望を見失ったところから立ち上がる勇気」「かわいそうと思われたくないなので努力した」「自分の可能性を信じて努力すれば結果はついてくる」など、ご自身の体験に基づいた力強いメッセージをいただきました。

生徒たちは、三宅さんのお話から、自分の中にも様々な可能性があること、その可能性を引き出すのは自分の努力であること、障害の有無に関係なく、互いの良さを生かし合いながらともに助け合って生きていくことの重要性について深く学ぶ機会となりました。



健康の維持・回復について

1月の第4週は、インフルエンザに罹患し欠席する生徒が多くなり、1年生の2つの学級の学級閉鎖の他、1・2年生の放課後の部活動も停止という措置をとりました。現在も学級閉鎖には至らないまでも各学級に罹患し欠席している生徒がいます。今後も罹患した生徒の一日も早い回復と罹患の拡大防止のための対応を徹底してまいります。うがい・手洗いの徹底、栄養の補給、体力の維持・回復のため外出をなるべく控える、人の多く集まる場所は避けるなどの対応につきまして、ご家庭でのご協力をお願いいたします。